

仕様書

1. 件名

令和3年度地熱資源開発研修業務

2. 目的

2011年の東日本大震災以降、国内での再生可能エネルギーに対する関心は高まっており、地熱についても開発の動きが非常に活発化している。

一方、地熱分野を扱う大学等の教育機関が減少していること、地熱開発について体系的に学ぶことのできる研修プログラムが失われていることなどにより、今後の地熱開発を担う若手技術者の不足等が問題視されている。

そこで、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構（以下「機構」という。）は、地熱開発に必要な実践的な知識の取得、熟練技術者から若手技術者への技術の継承、若手技術者のネットワークの形成その他の若手技術者の育成等を図る目的のため、令和3年度地熱資源開発研修（以下「本研修」という。）を開催する。

3. 講義内容等

大学、研究機関、民間企業等の専門家を講師として招聘し、地質、地化学、物理探査、検層、掘削、貯留層工学、温泉科学、環境影響、地上設備、発電設備、経済性評価、社会的受容性等地熱資源開発に関する講義を実施する。また、フィールドトリップを実施する。

参考：令和3年度地熱資源開発研修カリキュラム（案）

4. 業務の内容

本研修は、機構が選定した専門家等の講師を研修会場に招聘し、機構が選定した研修生に対して、所定のカリキュラムに沿って講義を実施する。また、機構が指定する施設等に研修生を引率し、フィールドトリップ（九州方面を想定）を実施する。

本研修の委託業務の実施者は、次に示す本研修の準備から実施までの各種支援業務及び結果の報告等を行う。

(1) 研修準備業務

- ① 本研修の実施に必要な研修施設・設備（Web配信等および新型コロナウイルス感染症等対応の為の設備等を含む）、宿泊施設等を手配、確保、管理する。
- ② 機構が選定した講師に対し、必要となる日程・旅程等を調整、管理する。
- ③ 機構が選定した研修生に対し、必要となる日程・旅程等を調整、管理する。
- ④ 機構が選定した Web 視聴対象者に対し、視聴方法等を連絡する（対象者は後述）。
- ⑤ 機構が選定した講師から研修資料を収集し、資料集を作成して、研修生等に配布する。
- ⑥ 機構が選定した講師及び研修生（Web視聴生も含む）の名簿は機構が作成する。

- ⑦ 本研修に必要な備品等の調達等を行う。ただし、税抜きで10万円以上の物の購入等に際しては、事前に機構に問い合わせること。
 - ⑧ 機構が指定するフィールドトリップに関して、受入先との連絡・調整、移動手段の手配その他の準備作業を行う。
 - ⑨ 機構との間で、研修準備業務に関する調整等を行う。
- (2) 研修業務
- 本研修の円滑な実施等のため、次に示す各種支援業務を行う。
- ① 研修生等の本研修中における生活の支援（新型コロナウイルス感染症等への対応を含む健康管理関係、食事提供の斡旋等を含む。）等を行う。
 - ② 講師に対し、旅程・宿泊の管理等を実施する。
 - ③ 本研修の講義実施に関して必要となる各種補助を実施する。
 - ・ Web 講義を希望する講師への補助の実施。
 - ・ 以下の者を対象とした、Web LIVE 配信の実施。
 - － 対象者：過去研修を受けた実績があり視聴を希望する者及び JOGMEC 職員研修は Web LIVE 配信で視聴も可能とする。
 - （Web 視聴者は質疑への参加は不可。）
 - ・ 第1、2週目は研修先にて基礎研修を実施。
 - ・ 第3週目は東京に移り、基礎研修及びグループワーク発表会を虎ノ門ツインビルディング地下会議室で実施する。
 - （地下会議室はツインビルディングのテナントのみ申込可能なため、予約及び支払は機構が行う。）
 - ④ 本研修のフィールドトリップを引率し、その円滑な実施を補佐し、安全管理を行う。
 - ⑤ 機構との間で、研修の運営等に関する連絡、調整等を行う。
- (3) 研修結果報告業務
- ① 本研修終了時に、研修生との意見交換（アンケート、ヒアリング等による。）を行う。
 - ② 本研修日程終了後、機構に対し、本研修全体に関する実績報告書（経費の精算に係るものを含む。）、研修生が作成した研修レポート（それを分析評価したものを含む。）などを提出する（電子媒体 DVD-R を含む一式）。
- (4) その他
- 開講式及び閉講式の開催、交流会等の実施のための各種支援、補佐を行う。
- ① 交流会及び修了会の会費、フィールドトリップ移動費（ホテル、交通費、保険料等）を研修終了後研修生所属先へ請求書を発行し精算を行う。

5. 納入場所

独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構 地熱統括部

6. 履行期間

- (1) 契約締結日から令和4年1月31日までとする。
- (2) 本研修の開催時期は、令和3年11月29日(月)から12月17日(金)までとする。

以 上

2021(令和3)年度 地熱資源開発研修カリキュラム(案)

		9:00～12:00	昼食	13:00～16:00	16:00～17:00	17:00～20:00
第1週	11月29日(月)	ガイダンス/METI事業紹介/地熱エネルギー概論		地熱資源:全国のポテンシャル	GW [※]	交流会・自己紹介
	11月30日(火)	地質調査(坑井地質調査を除く)、資源評価		地熱開発の社会的受容性(温泉事業者へのアプローチ)	GW [※]	
	12月1日(水)	坑井地質調査他		磁気・電気・電磁探査、統合的解釈	GW [※]	
	12月2日(木)	重力探査		地熱地化学(地化学調査と工学的化学による維持管理)	GW [※]	
	12月3日(金)	弾性波探査(微小地震・反射法)		温泉工学	GW [※]	
	12月4日(土) 12月5日(日)					
第2週	12月6日(月)	掘削技術1:概要・掘削機器		掘削技術2:トラブル事例	GW [※]	
	12月7日(火)	検層技術/演習		坑井試験①	GW [※]	
	12月8日(水)	坑井試験②		貯留層工学①	GW [※]	
	12月9日(木)	貯留層工学②		地熱井における坑井刺激/掘削演習	GW [※]	
	12月10日(金)	環境影響調査		経済性波及効果	GW [※]	
	12月11日(土) 12月12日(日)	〇〇→東京移動				
第3週	12月13日(月)	蒸気生産地上設備		発電設備	GW [※]	
	12月14日(火)	地熱協会の取り組み(1H)/蒸気生産設備保守管理(2.5H)		発電設備保守管理(2.5H)	GW [※]	
	12月15日(水)	経済性評価		グループワーク(オープン)発表会		修了式
	12月16日(木)	東京→九州方面移動		フィールドトリップ①:九州方面を想定		
	12月17日(金)	フィールドトリップ②:九州方面を想定		現地主要空港等で解散		

※講義後、16:00から17:00までグループワーク実施。